



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**災害時の避難スキーム構築をサポートする「避難保険プラン」の提供を開始**

2021年9月27日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三）は、災害発生時に避難行動要支援者<sup>※1</sup>が迅速に避難することができるスキームの構築サポートに向けて、「避難保険プラン」を2021年10月1日より提供開始します。

※1：高齢者や障害者など、災害時の避難行動や避難所などでの生活が困難な方

**1. 開発の背景**

近年、自然災害が多発・激甚化する中で、被災時の逃げ遅れによる被害が数多く発生しており、災害時の住民避難は大きな社会課題となっています。2021年5月には災害対策基本法が改正され、地方公共団体に対して避難行動要支援者の個別避難計画策定が努力義務として位置づけられたほか、同年6月に公表された国土交通省の「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト第2弾」でも住民避難が重点推進施策の一つとされるなど、避難行動への対策が急務となっています。

当社は、住民避難に向けた取組みとして、2019年9月より県立広島大学と保険を活用した避難スキームの共同研究<sup>※2</sup>を進め、今年2月には埼玉県三芳町で実証実験を実施、住民避難に関わる災害時特有のリスクと対策等を検証してきました。本取組を通じて得た知見やノウハウを活かし、地方公共団体等が避難スキームを構築する際に有効な支援策をまとめた「避難保険プラン」を今般提供することとしました。

※2：[https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2019/news\\_2019092500616.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2019/news_2019092500616.pdf)

**2. 「避難保険プラン」について**

「避難保険プラン」は以下の保険・関連サービスで構成しています。

**(1) 避難保険**

契約者	・地方公共団体等
提供開始日	・2021年10月1日
概要	・地方公共団体等が条例等に基づく約定 <sup>※3</sup> を履行することによって負担する費用を補償します。
補償内容	・災害時において自宅から避難所までの送迎等、地方公共団体等が住民に避難支援サービスを提供することにより負担する費用を補償します。
活用事例 <sup>※4</sup>	・避難施設までの送迎サービス（タクシー会社等から居宅に車を派遣し避難施設までの送迎費用を補償）、宿泊サービス（避難施設の代わりに最寄りのホテル等に避難した場合の宿泊費用を補償）等を想定しています。

※3：台風等により事前に自宅から安全な場所に避難する必要が生じた場合に、避難場所までの交通手段や避難施設に代わる施設の紹介などのサービスを提供する旨の約定

※4：地域特性を考慮したニーズを踏まえて、地方公共団体等ごとに個別設計します。

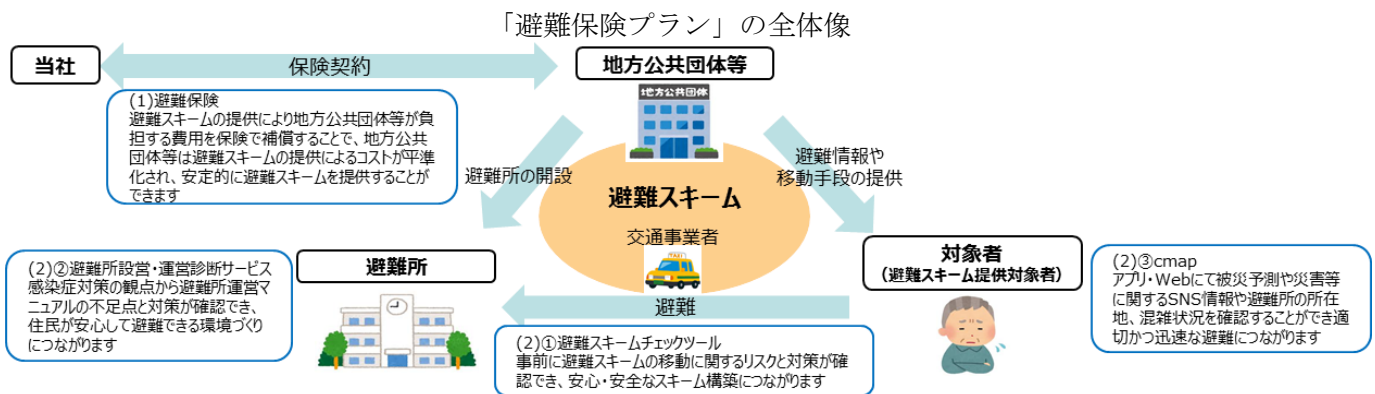
**(2) 関連サービス**

①	避難スキーム構築に向けたチェックツール <sup>※5</sup>	・地方公共団体等が避難スキームを構築する際に検討が必要なリスク対策やドキュメント整備などをチェックリスト形式で確認するツールです。地方公共団体等の避難スキーム構築を支援します。
②	避難所の感染症対策につながる「避難所設営・運営診断サービス <sup>※5</sup> 」	・地方公共団体等が既に作成している避難所運営マニュアルを「感染症対策」の観点で診断できるチェックリストを提供します。 ・診断結果とともに、対策例もあわせて提供しますので、住民が安心して避難できる環境づくりに役立てることができます。

③	防災情報や避難先情報等を確認できる被害予測ウェブサイト・アプリ「cmap (シーマップ) ※6」	<防災情報> ・台風・豪雨・地震による市区町村単位の被災建物数・被災率をリアルタイムで予測する機能や、気象・災害・ライフラインに関する投稿と判別されたSNS情報を速報として表示する機能も備えており、これらを活用いただくことで住民の適切かつ迅速な避難を支援します。 <避難先情報等> ・全国の避難先情報を平時より簡易に確認できます。災害発生時は、Lアラート（災害情報共有システム）の避難所開設情報や、株式会社バカンと協定した150超の地方公共団体が管理する1万件以上（2021年7月末時点）の避難所混雑情報をcmap上に表示し、住民が速やかに避難できるよう支援します。
---	--	--

※5：MS & ADインターリスク総研株式会社が作成しております。

※6：<https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/service/cmap/>



### <避難保険プランに関する県立広島大学 江戸教授コメント>

避難指示等が発令されても避難行動に移すことが困難な方はたくさんいらっしゃいます。その理由は、「移動手段がない」「避難施設が不安」など、多種多様です。避難を躊躇する要素を取り除き、避難行動を促進するのが避難保険プランの考え方です。一人でも多くの方が、適切なタイミングで、適切な場所に避難していただくために、避難保険プランは有効なコンテンツだと思います。

### 3. 今後の展開

当社は避難保険プランの提案を通じて、地域の実情に合わせた避難スキーム構築を支援し、社会・地域課題解決を目指していきます。

今後も、「CSV×DX (シーエスバイ バイ ディーエックス) まだ誰も知らない安心を、ともに」を当社の商品・サービス戦略のコンセプトに、データ・デジタル技術 (DX) を活用した共通価値創造 (CSV) に資する商品・サービスの開発・提供を進め、「レジリエントで持続可能な社会」の実現に取り組んでいきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントで持続可能な社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会・地域課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX (シーエスバイ バイ ディーエックス) というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現してまいります。

